

# 北海道強靱化アクションプラン 2017 <概要>

【趣旨】 北海道強靱化計画の推進にあたり、PDCA サイクルを効果的に機能させるため、向こう1年間における具体的な推進方策である「アクションプラン 2017」を策定

## 1 施策推進の基本方針

- 北海道強靱化計画の各種施策は、概ね順調に進んでいる状況であるが、平成 28 年度の中間点検で、一部施策の成果指標で直近実績が目標に達していないものがあり、引き続き「北海道総合計画」や「北海道創生総合戦略」と連携し、関連施策の推進を図る。
- 施策の推進にあたっては、国や道、市町村・民間が、適切な役割分担と連携のもとで取り組む必要があり、今後とも関係機関と連携し取組を進める。

## 2 平成 29 年度の施策推進

- 昨年の大雨等災害に関する検証結果等を踏まえた治水や道路防災・土砂災害対策の強化のほか、被災者支援の充実をはじめとした防災体制の強化など、ハード・ソフトの両面から施策の推進を図る。

【取組みの主なもの】

カテゴリー	主な施策	北海道強靱化アクションプラン 2017 主な取組
1. 人命の保護	河川改修等の洪水対策	○計画的な河道内樹木の伐採などによる治水機能の確保。
	関係機関の情報共有化	○関係機関で共有できる物資輸送・避難に係る経路等を表示した防災共通地図の整備。
	地域防災活動、防災教育の推進	○避難所運営ゲーム北海道版「D○はぐ」の普及促進。
2. 救助・救急活動等の迅速な実施	物資供給等に係る連携体制の整備	○北海道災害ボランティアセンターを設置し、平時から関係機関等との連携体制を構築。
	防災訓練等による救助・救急体制の強化	○都市型災害を想定した防災総合訓練の実施による地域防災力の向上。
3. 行政機能の確保	災害対策本部機能等の強化	○道災害対策本部指揮室各班における具体的業務の手順を明確にし、行動すべき事項・タイミング等を記載した時系列活動表の作成。
4. ライフラインの確保	再生可能エネルギーの導入拡大	○公共施設等への再生可能エネルギー等の導入を促進。
	道路施設の防災対策等	○緊急輸送道路や避難路上にある橋梁など道路施設の優先的な点検や耐震化の推進。10万長寿命化計画等に基づく適正な管理。
5. 経済活動の機能維持	リスク分散を重視した企業立地等の促進	○首都圏等企業の本社機能の移転や、データセンターの誘致のため、企業訪問やフォーラム・現地視察会を実施。
6. 二次災害の抑制	森林の整備・保全	○森林計画制度に基づく森林づくりのための計画策定や、森林整備・林道等の路網整備を推進。
7. 迅速な復旧・復興等	災害対応に不可欠な建設業との連携	○建設業団体等が行う人材の確保・育成・定着の取組支援や、セミナー開催など、建設業の担い手対策を実施。

## 3 地域毎の取組

- 6地域（道南、道央、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室）ごとの地域特性等に応じて、北海道強靱化に向けて取り組む。